

業務部速報

発信者》JREU
仙台地本業務部 / 湯ノ目
〒983-0852
仙台市宮城野区榴岡1-4-3
TEL 022-297-0155
FAX 022-291-3070
JR 031-3981~3
FAX 031-3980
2021年 3月 24日

「2021年度郡山総合車両センター業務について」に関する申し入れ

団体交渉②

(5項)主電動機組立、試験及び入出庫作業の委託にあたっては、現時点における説明や教育のスケジュールを明らかにすること。また、事前に相当な期間を持って現場社員へ説明し、偽装請負となるような事象が生じないようにすること。

(回答)部外委託に関する周知については、必要に応じて実施していく考えである。

【主な議論】※具体的な委託内容、組持、班長の作業のどこまで委託になるのか、詳細については確認。
・内容を踏まえて、実施時期の早目には始めるべきことを主張しました。

(6項)主電動機組立、試験及び入出庫作業の委託にあたっては、頻発する設備故障を解消すること。また、東北鉄機の作業における故障修繕と今後の委託会社の故障修繕の取扱いを示すこと。

(回答)設備故障に関しては引き続き必要な対応は実施していく考えである。

【主な議論】

(組合)設備の不具合修繕状況は認識しているのか。

(会社)認識している。

(組合)設備をきちんと直してから委託すべきではないのか。

(会社)出来る範囲の更新は行い、修繕数も認識している。設備はJRのものなので、修繕はJRで行う。…

(組合)耐圧試験に関わる感電災害のリスクは下がっていない。

(会社)認識している。調整していく。…

7.主電動機絶縁更新工事は、2020年度と比べてMM種別ごとに具体的な数を示すこと。また、生産能力向上については設備の改修などを行ってきたが最大能力はどの程度の台数を目指し、その際のキャッシュアウトをどの程度抑えることができ、それが何年続く見通しなのかを示すこと。

(回答)主電動機絶縁更新工事は生産能力向上に取り組んでいく考えである。

【主な議論】・計画では420台程度予定で下期から増やす。(例年は月約30台で年間350~360台程)
・倍増できる体制をとる。が作業者を増やすことは考えていない。上期にトライアルして行う。
・キャッシュアウトを防ぐ。一台当たり37万4千円程かかっていた。

8.今後の車両メンテナンス 体系構築に向けて継続的に検討を進めていくとしているが、2020年度のその取り組みと成果を明らかにするとともに、2021年度の最大限集中する取り組み内容を明らかにすること。

(回答)引き続きグループ会社と一体となった効率的な業務執行体制を構築していく考えである。

【主な議論】・トライアルについては継続する。

・郡山総合車両センターの経費節減については、達成の方向で進んでいる。

・2021年度は、入場両数が違うので、2020年度と比較できないが、車両修繕単価の2%が目標となる。

9.社員・G社社員の通勤災害の観点から、北門閉鎖について社員の意見を聞き再検討すること。

(回答)現行どおりの取り扱いとなる。

【主な議論】…現段階で北門を開ける計画は無い。…